

講演会

2018年度西東京市公民館市民企画事業

東京から
110km

事故率
ワースト1の
老朽原発

60年間も
運転？

老朽原発再稼働って本気？

東京から最も近い東海第2原発

講師 小川仙月さん

(脱原発ネットワーク茨城 共同代表)

2018年

10月21日(日)

14:00~16:30(受付 13:30~)

会場:西東京市田無公民館 3F 視聴覚室

(西武新宿線田無駅南口徒歩3分)

資料代 100円



知りたい! 東海第2原発 何が危ない?

- はじめての人でもわかる原発のしくみ
- 東京から110kmの恐怖
一首都機能喪失? 被災者3500万人?
- 東海第2原発を運営する日本原電って
どんな会社?
- 可燃ケーブルのまま再稼働って本当?
- 東電が後押しってどういうこと?
- 周辺6市村に拡大した地元同意権とは?



共催 原発はいらない西東京集会実行委員会
西東京市公民館

連絡先 柳田 Tel 042-461-3246

ブログ <http://nonuke-ntyoo.cocolog-nifty.com/>



40年の期限を迎える茨城県の東海第2原発

このまま廃炉？ それとも再稼働？

東京から110 kmに立地する首都圏の原発が東海第2原発です。11月27日付けで運転期限の40年が経ち、このまま廃炉とするか、運転延長をするかの判断が迫られています。

原子力規制委員会は7月4日に東海第2原発が新規制基準に適合したとする「審査書案」を了承しました。

一方、古いタイプのケーブルの安全性や、地震や津波対策の甘さ、人口過密地帯での避難の難しさなど、さまざまな問題点も指摘されています。

30 km圏内に96万人、さらに3500万人が住む首都圏で、老朽化した東海第2原発をもう20年間、はたして動かし続けていいものでしょうか。

これはまさに西東京市に住む私たち自身の問題です。

東海第2原発の現状を知り、なにが問題なのか、これからどうすべきなのか、共に考えてみましょう。



過密地帯に立つ東海第2原発

東海第2原発再稼働への7つの疑問

地震対策が
なっていない

沸騰水型・
マークIIタイプの
危険性

致命的な
欠陥・可燃性
ケーブル

ベントは
社会との
約束違反

東京まで
110 kmの
至近距離

30 km圏内
100万人の
避難は不可能

近接する
核廃棄物
再処理施設

小川仙月（おがわ せんげつ）さん プロフィール

1964年生まれ。筑波大学卒。

1986年、チェルノブイリ原発事故の被害を知り、反原発運動にかかわるようになった。1990年にチェルノブイリ被害の現地・白ロシア（現ベラルーシ）を訪れる。白血病に冒された子供たちの姿を『白ロシアからの手紙』にまとめ出版。日本の原発でもチェルノブイリのような公衆被害をもたらす事故が起こる可能性があるとして訴え続けた。福島原発事故以降、各地で学習会を重ねている。

2015年より脱原発ネットワーク茨城・共同代表。

ツイッター：@ogawabfp 著書：『白ロシアからの手紙』

会場地図



原発はいらない西東京集会実行委員会とは

「原発はいらない」を地域でアピールするために集まった個人参加の会。東京都西東京市でデモや集会、講演会、写真展などを行っています。次回の第26回「原発はいらない西東京集会&デモ」は2018年10月7日(日)14時集合 西東京市役所田無庁舎。